

学校通信『自分に自信と夢を』 第52号 文責 古澤

学校に笑顔を ～「新しい生活様式」での学校再開③～

「6月からの新しい生活について」 No.3

今号では、6月5日(金)に実施した学校再開に向けたスタート式での校長の話をご紹介します。



○4月8日の始業式、4月9日の入学式から6日後の4月15日から学校が休みになりました。その間、分散登校がありましたが、51日ぶりに全児童が登校して、学校に元気な子どもたちの声や笑顔が戻ってきたことをとても嬉しく思います。今日は、校長先生から「新しい生活の仕方について」と「人の話を聴くこと」と「一人で悩まないこと」の3つについて話をします。今日も、優しい心で聴いてください。

①一つ目の「新しい生活の仕方について」です。校長先生は先生になり36年間、大切にしてきたことの一つに握手があります。

頑張った子どもたちへの声掛けや握手、時にはハイタッチやハグもありました。しかし、感染予防のために今年の3月からは、握手やハイタッチを1回もしていません。自分の命を守るため、大津小の子どもたちや先生方の命を守るために大切にしてきたことを今はやめています。児童の皆さん、手をつないだり、肩を組んだりしていませんか。これからの新しい生活では、人との距離・友だちとの距離を取るよう呼びかけられています。友だちとの距離を意識して生活してください。私は握手をして褒める代わりに、今まで以上に言葉や表情で子どもたちの頑張りを褒めるようになりました。今は、子どもたちや先生方との距離は離れていても、心は今まで以上に繋がってきたように思います。児童の皆さんも、体は離れていても、友だちや先生との心のつながりだけは大切にしてください。友だちや先生との心のつながりを忘れないでください。

②二つ目の「人の話を聴くこと」についてです。現在、教室での授業は感染予防のために全員が前を向いて勉強をしています。マスクを着けての短い会話はできますが、今まで取り組んでいたペア学習やグループ学習・班活動は、まだまだできない状況にあります。しかし、大津小では今年の1月から「友だちや先生方の話を最後まで聴く」に取り組んでいます。ペア学習やグループ学習ができなくても、先生の話や友だちの発表は聴くことができます。ピンチをチャンスに変えて、できることを頑張りましょう。チャンスの一つとして、今は友だちや先生方の話を最後まで聴いて、自分の学びを更に深めてください。夢中で学び、高め合う自分を目指してください。

③三つ目の「一人で悩まないこと」についてです。昨年からは皆さんと「友だちに優しい大津小」を目指してきました。新型コロナウイルスのことで、いじめや差別が絶対にはありません。友だちの心を傷つけたり、友だちに悲しい思いやきつい思いをさせたりしては絶対にいけません。今の社会状況だからこそ、友だちに心を寄り添い、友だちを大切にしてください。さて、休みが長く続いたことで心配している人、新型コロナウイルスのことで不安に思っている人がいると思います。大津小では今週「心と体のアンケート」を実施しています。既に終わっている学年、今日実施する学年もあると思います。先生たちは、君たちから出た不安や心配に対して、丁寧に話し合っていきます。寄り添っていきます。また、これから先も、一人で悩まずに必ず先生方や友だちに相談してください。729名の児童、51名の先生、全員で、この難局を乗り越えて行きましょう。

○昨年からは皆さんと「命を大切にする大津小」を目指してきました。全国では、まだ新型コロナウイルス感染症が発生しています。自分の健康は自分で守る。自分の命は自分で守ることが大切です。そのためにも、生活のルールを守ることです。この後、3名の先生方から「6月からの学校生活について」の大切な話がありますので、引き続き優しい心で聴いてください。今までにないルールや決まりの話もあります。必ず守って、自分や友だちの命や健康を大切に守ってください。

スタート式での3名の先生方の健康・生活・体育の話については、次号以降に紹介します。

【保護者へのお願い】 児童の欠席連絡や学校からのお知らせの配信などに使用する「連絡アプリ」の登録率が、6月11日現在で93%です。登録がまだの御家庭は、早急に登録をよろしく願います。登録方法等で分からない場合は、教頭まで御連絡ください。